

製品名: プロラクチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16521**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	PRL
別名	PRL; Prolactin; PRL
遺伝子 ID	5617.0
SwissProt ID	P01236
免疫原	抗血清はヒト PRL の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

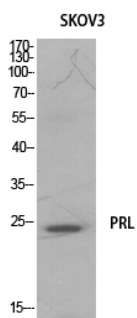
この遺伝子は、下垂体前葉ホルモンであるプロラクチンをコードします。この分泌ホルモンは、免疫系細胞を含む多くの組織の成長制御因子です。また、アポトーシスを抑制することで細胞生存に関与している可能性があり、授乳にも不可欠です。選択的スプライ

シングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011 年 8 月],機能: プロラクチンは主に乳腺に作用し、授乳を促進します。 ,オンライン情報: プロラクチンエン트리,類似性: 成長ホルモン/プロラクチンファミリーに属します。 ,

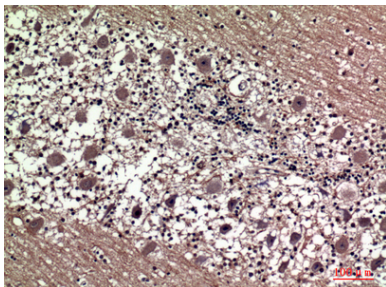
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;神経活性リガンド-受容体相互作用;Jak_STAT;

画像データ



プロラクチンポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された